

伝言板

カタロにて ブリザーブドフラワー シェリー

春のパラソルアレンジ

日時： 3月 26日(土) 13:00~15:00
28日(月) 13:00~15:00

体験： 3,000円(全て込み)
*卒入学にブリザーブドのコサージュはいかがですか?オーダー、レッスン共に3000円です。

お問合せ・お申込み:
片岡 090-7267-4498
HP <http://p-f-cherie.petit.cc/>

カタロにて 韓国語講座

日時： 3月 28日(月)
10:00~11:30
会費： 3,500円

講師 邊 美仙
韓国ソウル出身。ソウルにて誠信女子大を卒業後、筑波大学の大学院修士課程を修了卒業。

お問合せ・お申込み
篠崎 080-5543-7489

カタロ通信

VOI.157
2011年 3月号

<http://www.e-kitazawa.com/>

榊北澤工務店

301-0855
龍ヶ崎市藤ヶ丘7-1-7
TEL: 0297-60-1333
FAX: 0297-60-1311
e-mail: info@e-kitazawa.com

カタロ

301-0855
龍ヶ崎市藤ヶ丘7-1-12
TEL: 0297-60-1666
閉館日: 水曜日
e-mail: kataro@e-kitazawa.com

甘味café 空~くろ~

301-0855
龍ヶ崎市藤ヶ丘7-1-12
TEL: 0297-63-0730
定休日: 水曜日
e-mail: kuu@e-kitazawa.com

財団法人性能保証住宅登録機構加盟建設業許可茨城県知事(般-17)第22696号 宅地建物取引業者茨城県知事免許(3)第5344号

にゅーふえいす



まつばひろき
松葉弘樹です。

始めまして、こんにちは!
今年の1月から設計として入社しました。
建築設計はまだまだ勉強中の身ですが、これからお会いするたくさんのお客様に、世界でたった1つしかない、心から感動していただける素敵な「家づくり」のお役に立てるように頑張っていきたいと思っております。
宜しくお願い致します。

カタロレンタルリビング

カタロサークル会員募集!

カタロサークル会員とは・・・
会員様ご自身の手作り品を通じて活動しているグループに方に
年会費1万円
ご利用料金1時間500円で
カタロをリーズナブルにお使い頂くことのできる制度です。1年毎に更新させていただきます。
詳しいことは、カタロレンタルリビング
0297-60-1666まで
皆様との良い出会いと
あたたかなお付き合いができますように・・・
『カタロ』はお待ちしております。

ぽちゃぽちゃキッチン

大根の佃煮



- 材料 (どんぶり1杯分)
- 大根 500g
 - しょうが 1/2かけ (千切り)
 - 塩昆布 20g (多くても美味しい)
 - 砂糖 25g
 - しょうゆ 25cc
 - みりん 大さじ1
 - 酢 35cc
 - たかのつめ・ごま 各少々

- 作り方
- ①大根は薄切り。食べやすい大きさに!
 - ②塩昆布以外の材料を鍋に入れ、強火で、かき混ぜながら煮る。(弱火で長時間はだめ)
 - ③水分がほとんどなくなってきたら、塩昆布を入れて、水分がなくなるまで混ぜながら煮る。
 - ④火を止め冷ます。
- ・・・塩昆布はフジッコを使うと美味しいです。
簡単でお美味しいです!作ってくださいね!
忙しい時、作り置きしてください。1週間くらいは大丈夫です!
・・・ぽちゃぽちゃミセス



1月吉日、
着工式を執り
行ないました。

着工式とは、工事の始まりのお祝いと、施主様と現場に係る職人さんとの顔合わせです。



・・・北澤工務店&甘味Cafe空~くろ~から・・・

3月 空のミニショップは・・・
『ミッシーズ』 ~ 布小物
『peace』 ~ 布小物



おさむのひとりごと

3月ですね。例年よりも雪が降ることが多かったこの冬。やはり地球が悲鳴を上げているのでしょうか。昨夏も物凄く暑かったからですからね。ある学説によれば、地球にも寿命があるという。もちろんぼくらの世代や近々の子孫の時代にそうなるわけではないけれど、生命の有限性の中でぼくらが生きていることは間違いなさそうです。その中でわすかなぼくたちの生の時間。。そんなことを考えているとなんとなく切なくなってきましたけど、それが事実なんですよ。ぼくらには明日があるかもしれないけれどないかもしれない。だから、いまここ、この瞬間瞬間に生きる以外に人生はない、そう思うんです。

もうすぐ春です。いかがお過ごしでしょうか。

ぼくは来月44歳になるんですよ。あっという間です。ほんと。その中で妻と出会い、3人の子供たちと共に家族を成長させてきた。その昔、大人はみんな立派、というか、自覚のある存在だと思っていました。親は始めから『親』として存在していると思っていました。

でも自分がこうして3児の親になり、中年になってみて振り返ってみると、ちょっと違う感覚があります。それは、ぼくらは、大人になるのも初めてだし、親になるのも初めての経験であるということ。何もわかっていないんです。わかっているふりをしながら歳を重ねて、経験を通して、それらしくなっていく。だから、大人として、親として、たいそうな口をきいたもんじゃありません。偉そうなことを言えたもんじゃありません。みんな初めての役割、体験なんだから。

そんなことを感じていたら、『ああ、ぼくはこの家族と共に、親としてよちよち歩きから成長してきたんだなあ』なんて当たり前、当然なことがじわーっとここに浸ってきました。

で、その家族にどんなことをしてきたんだっけかなあ、と思いを馳せたら、けっこうぼくなりの『家族のルール』がありました。そのいくつかを書き連ねてみたいと思います。



《家族優先》

長男が高校2年生、長女が中学2年、次男が小学6年になりました。これまでもそうだったんですが、いまの子供たちって忙しいんですよ。習い事もひとつじゃなかったりしますし、部活だとかテスト勉強だとか友達と遊ぶだとか何だとか。

でも小さい頃からずーっと言っているんです。『家族優先！』って。小さい頃から言っているから我が家にとっては特別な言葉ではないんですが、誰かが反れようとする、『家族優先！！』って言葉がどこからともなく飛んでくる。ディズニーランドに行くとか、外食するとか、家族旅行に行くとか。朝ごはんも、ぼくがいれば夕食もみんなちゃんとそろってから食べます。全てに『家族優先』なんです。途中から言ってもたぶん難しいでしょうね、こういうの。

《食後の儀式》

ごはんを食べた後にちゃんごちそう様しますよね。我が家ではそれに加えた言葉があるんです。それは『ごちそう様でした。とってもおいしかったです。』って、みんなで声と手を合わせてやるんです。毎回々々、どこでも。レストランでもやるもんですから周りの人の目を引きますが、これが我が家の家族のルール。ずーっと昔からやっているから何の違和感もない。家族だ

けの言葉って、結束力を強めると思います。

小さい頃はできなかったけれど、3年ほど前から自分の使った食器は自分で洗って流して拭いて食器棚にしまうことになっています。これ、いやいややっちゃ意味がないんですよ。当然のようにやる。家族みんなで協力しながら洗い物するのはことのほか楽しいものです。食器洗い乾燥機もいいけれど、手洗いしながらあーだのこーだのやるのもいいものです。じゃんけんして洗う人を決めたりもするのですが、負けた人がやるとイヤイヤになっちゃいますから、じゃんけんして勝った人が『ハイ喜んでー！！』とか言いながらやるんです。ゲーム感覚ですね。楽しくなくちゃ続かないですから。



《子供部屋がない》

だいたいお父さんの部屋がないんですから、子供部屋なんて、なくて当然！！。。ま、それはへその曲がった考え方ですかね。

ぼくは家づくりという仕事を通して、『家族』というテーマに取り組んでいます。自分たち家族がどんな家族になりたいのか、どんな家族で在りたいのか、とても重要です。

その中で、子供部屋をどうするか、です。欧米式LDK発想が高度成長期に公団を中心に取り入れられ、定着しました。子供部屋は収納+6畳しかも南側、みたいな感覚です。

子供の自立性・主体性を重要視する方に好評なこの子供部屋。それはそれで常識的ですよ。

でもぼくは少し違うんです。子供部屋そのものが個室として必要なのかなあ、って思うんです。ぼくの描く家族像は、一体感があるんです。こんなに大変な、これだけ混沌とした世の中なんです。家族だけは一体感の中に強い絆で結ばれていたい。子供たちにとっても自身にとっても。

だから我が家では、仕切りのない立体的な空間を子供部屋として用意しました。入り口はひとつ、3人一緒です。それぞれが自分だけのコーナーをつくっているだけです。で、もう年頃の子供たちですから、当然ながら『あー自分の部屋が欲しい！！』とか言うんですよ。だれだれちゃん家は広い個室があってベランダがあって・・・って言うんですよ。そういう時にぼくはこう言うんです。『ここはお父さんがつくったお家だから、嫌だったら早く自立してアパートで1人暮らしをしない』って。この句がないですね、子供たち。

子供部屋に対するぼくのおすめは、子供部屋はなるべく居心地悪く、家族の集まる居間を最大限快適に！！です。もちろんテレビは1台。みんなでケンカしながら番組の取り合いしたらいいんですよ。小さい頃からそれが普通だったら、なんも問題なんてない。我慢するとか、分かち合うとか、自然に身につけていくもんです。少しの不自由さの中にこそ、ほんとうの豊かさがあったり、絆が育まれる素地があると思うんです。

この『家族のルール』、実はもっとあるものですから来月も続けて書いてみたいと思います。

3月は別れの季節ですね。末っ子のしゅうへいも小学校の卒業式です。『それを思うだけでうるうるしちゃうわあ』とは妻の弁。さてさてどのような卒業式を迎えるのでしょうか。



お祝いのお餅がまかれました。



最後に、施主様が親もちをまかれました。



祝詞を挙げる北澤社長

上棟式とは、建物の守護神と匠の神を祀って、棟上げまで工事が終了したことに感謝し、無事、建物が完成することを祈願する儀式です。



朝早くから、上棟にむけて柱・梁を組んでいます。



たくさんの方にお出で頂きまして、ありがとうございました。

祝・上棟・もちまき

龍ヶ崎市Y様邸